

A man wearing a dark cap and a floral-patterned short-sleeved shirt is smiling and holding a white chicken. He is standing in a field with tall green plants, possibly corn, under a bright blue sky with some clouds. The background shows a line of trees and a clear horizon.

ZENホメオパシー

1回の処方で「子宮内膜症」が消滅のケース

新城英一 RAH9期

ホメオパシーセンター沖縄トリイ

(**南の島の自然療法院**)

JPHMA認定ホメオパスNo.0452

ハルサー (お百姓) ホメオパス



女性 40代

主訴：子宮内膜症（不妊治療  
中）



## <状況>

39歳から不妊治療を開始し現在も継続。

受精卵を凍結し、子宮に戻す施術を過去に4回行ったが、妊娠には至らなかった。

5回目が最後だと病院に行ったが医師より「**慢性子宮内膜症**の疑い」と診断。



「この状況では受精卵を戻す事はできないので、薬で治してから」と抗生物質が処方された。

しかし、過去に抗生物質を飲んでカンジダになった事があり、できるだけ使いたくない。そのような状況と理由で、相談会を受診されました。



## 【相談会 1回目】

クライアントさんの事前報告書と対話から、この女性は家庭崩壊の家で育ち、乳幼児期から青年期にかけて、どこにも居場所がなく、親からは精神的なネグレクトを経験している事がわかりました。

幼少期、父親が仕事で大怪我。モルヒネの乱用から精神が崩壊。クライアントさんが6歳の時には、父親は包丁で家族を襲い、血が流れる惨劇があったといえます。

クライアントさんは人質にされたほか、殺されかけながらもギリギリで逃げ切った体験がありました。

また、母親との絆も薄く、14歳の時には母の元を離れ、「自分を育ててくれる人」を捜すために知人宅を訪ね歩いたと綴られていました。



不妊治療が暗礁に乗り上げた最中、親戚が離婚。  
同時に甥っ子が育児放棄で施設に保護される状況に遭遇して  
おりました。

手一杯な状況の中「自分が育てるから」と必死に引き取り、  
女性と甥っ子の共同生活が始まったという部分が、最も印象  
に残りました。



相談会では「神への感謝を感じるが、心に傷を負った子供たちとの生活は予想以上に過酷で、自分になつかない子どもの態度に感情が激しく掻き乱される」と語ってくれました。





## <症状の全体像>

★不妊症

★経血は暗い色

★左の下腹部（卵巣付近）に  
軽い排卵痛が存在する

★飲酒で左の下腹部（卵巣付近）の  
痛みが悪化

★卵巣痛は飲酒で悪化

★飲酒で真面目な話をした時だけ泣く。

## <症状の全体像>

★汗はアンモニア臭

★首やひじの内側にアトピー

★爪は薄く、伸びると割れる

★イボ

★繰り返し見る夢：トイレの夢。

探す汚いのでようが足せない。探すが見当たらない。



## <見立て>

- \* 幼少期に母への信頼、愛着が極めて満たされていない。
- \* 表現されない感情と願望が無意識に蓄積され、  
身体の新陳代謝を滞らせている。
- \* 溜め込まれた感情が肝臓の機能を低下。
- \* 血中のアンモニア濃度（窒素濃度）の上昇。
- \* 特に骨盤内の気の滞りが血液の汚れ、  
停滞（瘀血）が不妊に関係。



<見立て>

\* 「基本的な欲求」が全く満たされていない事が  
夢に現れている。

\* 現在、マイナスの遺伝傾向

(淋病と疥癬マヤズム) がアクティブ。  
背後に梅毒マヤズムが潜んでいる。



## 【TBR】レメディー選択の根拠

1 : 1011 - 内側部分の炎症

2 : 504. 卵巣

3 : 1188. 腺 - 縫われるような痛み

4 : 524. 月経の経血は暗い色

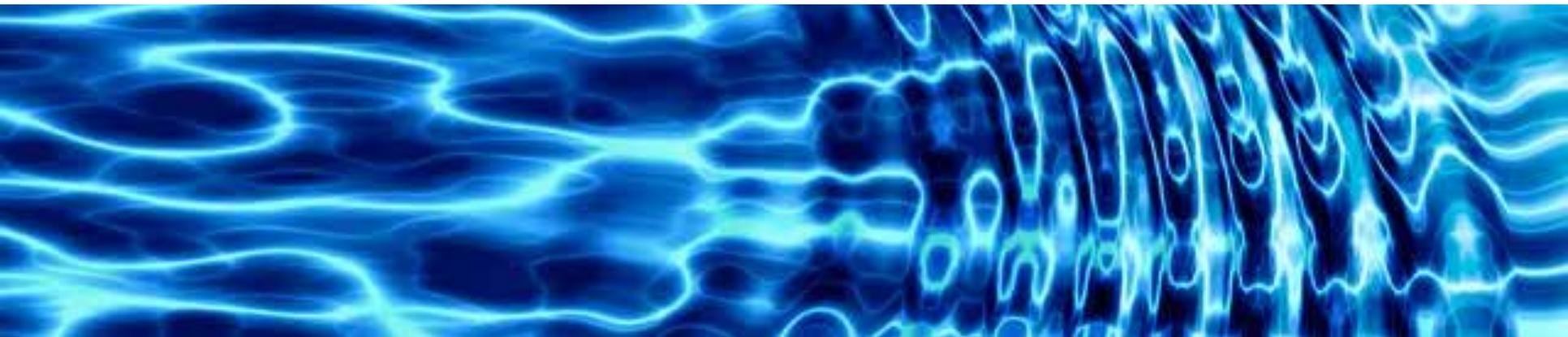
5 : 487 性的能力不足(不妊)

6 : 744. 発汗のにおい: - 尿のような



## 【TBR】レメディ―選択の根拠

順位	レメディ―	出現回数	度数合計	1	2	3	4	5	6	7	8
1	Nit-ac.	8	20	2	2	2	3	2	3	3	3
2	Sep.	7	18	2	3	3	3	2		2	3
3	Sulf.	7	16	3	2	3	2	3		1	2
4	Lyc.	6	15	3	3	1	2	4			2
5	Nux-v.	6	14	4	2	2	4	1			1
6	Graph.	6	14	1	2	2	1	4			4
7	Calc.	6	13	2	1	3		2		2	3



## <2021年7月9日 レメディーの選択>

---

【朝】 Nit-ac LM02 + Med-a LM03

【夜】 Thuja LM04

【随時】 MT)スーヤ Φ + Zinc 12X + Apis 30C+ Follic 6C



## <レメディイの解説>

\*Nit-ac . . . 抗淋病、梅毒、疥癬

\*Med-a . . . 抗淋病+抗梅毒

\*Thuj . . . . 抗淋病、精神-感情-肉体のずれを修正する

\*Zinc . . . 欠乏したミネラルの補充

\*Apis . . . . 卵巣の気の滞り

\*Follic . . . . ホルモン剤の解毒



<私からのお手紙>

この世には「血縁」とは別に「魂の縁」というものがあります。魂の親、魂の子供という関係性の中で、成長する道があるのです。

この子の中に、自分と似た部分を探しましょう。すごく似た部分があるはずですよ。

そして、子育ても仕事のように一人で抱えない事。

そうすると、〇〇さん自身も、子供達もゆとりを失い、不のスパイラルにおちいるでしょう。



<お手紙 続き>

この子の心は「捨て猫」の心に似ています。

親に2度捨てられ、心に深い傷を負いました。

だから、〇〇さんだけではなく、お母さんや親類、ご近所の人など、複数の人々になつこうとするのは本能からきているのです。

## <2021年7月8日報告 好転反応>

夏は汗をかくのでアトピーが首と腕にでるのは恒例なのですが、いつもと違い痛いです。

アトピーというより痛かった。触るとピリピリして痛い。



8月3日に右眼にもものもらい？お岩さんのように、目が腫れあがった。右側の首の後ろのリンパが痛くなった。

子宮内膜症の痛みに変化。

今まではチクチク。今は、押されたようになっている。



<報告 2021年9月29日>

今、婦人科に来ています。

消えました！！

炎症が無くなりました！！

担当医が驚いています！

どういう処方をしたのか教えて欲しいと  
何度も言われました。

ホメオパシーだと伝えましたが、ご存知で、何を飲んで  
治ったのかと聞いてきます！

先生！！ありがとうございました。



<追伸>

夜分遅くに失礼いたします。

今日は本当に興奮と感動の一日でした。

私はまだホメオパシーの力を信じてないのだなと思い知らされました。

同時に先生のこと信用していなかったのかもしれない。

結果を聞かされた時よくわからなくて、3回ほど聞き直したんです。

悲鳴のような「え———！！」や「ひゃ——」を何度も言ってしまいました。

実は今回、治っていなかったら薬を飲むつもりでいたんです。  
“1回目の処方で治っていた”ということなんだと思います。

私の驚きに負けないくらい、担当医が驚いていたのをまのあたりにしたことも衝撃でしたが  
とにかく今日は私にとって忘れられない一日になりました。

## 【まとめ】

通常「子宮内膜症」が1回で消滅する事はありません。

このケースでは、以下に着目し、レメディィーと薬草（マザーチンクチャー）を選択した。

1. クライアントさんの状態を見据え、霊的なカラダ（幽体）と肉体の結びつきを強化する意図からスーヤを選択した。
2. 骨盤内組織の炎症を引き起こす淋病マヤズム、梅毒マヤズムを中和するためにスーヤ、ニタック、メドライナム・アメリカーナが選択された。

3.このケースでは、精神的ネグレクトを受け、不妊に悩むクライアントさんが、実際に育児放棄された子どもに遭遇し、育てる「運命」が背景となっている。

心の乱れたクライアントさんには、子供が、なつかないのは霊的な意味での「生みの苦しみ」であり、それを超えて「魂の親子」となると理解し、今の苦しみを受け入れられるよう助言を行った。

治療家が治しているのではない。  
治癒は人智を超えた部分で起きている。

治療家ができる事は「治癒」の妨げとなっているものを取り除く事の他に何も無い。

ZENホメオパシーの恩恵が必要な方々に届きますように。



最後までご視聴いただきまして、  
ありがとうございました。